

産業建設常任委員会会議記録  
(条例等審査)

1. 日 時	令和元年9月9日 9時29分開会 令和元年9月9日 16時00分閉会
2. 場 所	議員協議会室
3. 出席議員	大上和則委員長、吉田知代副委員長、渡辺拓道委員、足立義則委員、 國里 修久委員、園田依子委員、森本富夫議長
7. 参考人	紹介議員前田えり子議員、丹有地域労働組合総連合代表
9. 会議に付した事件	議案第60号 丹波篠山市水道事業給水条例の一部を改正する条例 議案第65号 平成30年度篠山市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

10. 議事の経過	
開会	9:29
大上委員長	開会宣告
大上委員長	あいさつ
■日程第1 議案第60号 丹波篠山市水道事業給水条例の一部を改正する条例	
上下水道部	
【主な説明】	
上下水道部	より 別紙により説明
【主な質疑】	
渡辺委員	他の自治体も同等の対応を行うのか。
上下水道部	新規手数料と同額の手数料として1万円とした。近隣の自治体と情報交換を行ったところ、ほとんどが1万円であり、中には2万円と決定した自治体もある。
森本議長	登録している工事事業所は、何社くらいあるのか。又、登録はしているが、実際に工事を行っていない事業所はあるのか。
上下水道部	登録事業者の総数318社の内、実際に申請や工事を行っているのは、概ね100社余りである。
■日程第2 議案第65号 平成30年度篠山市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	
【主な説明】	
上下水道部	より 別紙により説明

### 【主な質疑】

森本議長 他市との水道事業会計と比較し、当市の事業会計は評価できる内容となっているのか。又担当部署としての自己評価はどのように感じているのか。

上下水道部 給水人口が年々減っていることに伴い、実質的な利益の減少や給水収益も減ってきている。又、一般会計からの繰入金の大部分を占める高料金対策繰入金も今後減少していく見込みで、3億円あまりの黒字も年々減っていくことは明白である。現時点で、黒字だからと安穩とせず、今後も経費削減に努め、現行の料金を上げることなく維持するように運営をしていきたい。他市との比較であるが、立地条件などが違うため一概に比較することは難しい。当市の現状を踏まえて、安定的な経営に向けて今後を見据えながら取り組んでいきたいと考えている。

### ■表決

議案第60号 丹波篠山市水道事業給水条例の一部を改正する条例

議案第65号 平成30年度篠山市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

—討論なし・全員賛成で可決—

大上委員長 委員会の審査報告については、委員長に一任願いたい。

—異議なし—

### ■請願審査

■日程第3 請願第1号 最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書の採択を求める請願書

### 【主な説明】

紹介議員 前田議員 別紙により説明

### 【主な質疑】

渡辺委員 請願についての要望3点が上げられているが、3点がセットの内容であると理解していいのか。

前田議員 どれも欠かせない内容であるとは思っているが、議会として審査した上で、意見書としてまとめてもらえればと思っている。

丹有地域 参考までに意見書案を添付している。その中には、3点の要望事項について並列して記載している。別紙資料に全国のコンビニ募集時の時給比較を掲載しているが、募集場所により最低賃金額のばら

つきがあり、金額の高い地域に労働力が集中することにつながっている。最低賃金を全国一律に1,000円以上に引き上げることで、労働力も分散することにつながられるため意見書の項目として入れてほしいと思っている。経済連や中小企業からは、最低賃金をあげることによって支出金が増加するのは困るといった観点から反対の声もあるが、中小企業への支援も一緒に行わないと安定した経営が成り立たず反対の声もあがるので、セットで意見書の中に入れてほしい。国も最低賃金を1,000円にしないといけなと言っているが、あまり時間をかけてもいけないので早く対応するようにという意味からも、この3点をセットで意見書の項目に入れて、意見書を出してもらえると嬉しいと考えている。

足立委員  
丹有地域  
足立委員  
前田議員  
足立委員

平均賃金についての説明はお願いできるのか。

手元に資料がないため、この場で説明することが出来ない。

生活保護水準は、地域格差があるのか。

都市部、郡部では少し基準に違いがある。

生活保護水準は地域格差があるということであるが、最低賃金も同様に地域格差があるという認識でいいのか。

前田議員

生活保護水準は、最低賃金のように、県ごとに基準が決められていない。

渡辺委員

最低賃金の引き上げ、是正は、慎重に行わなければ経済全体に悪影響を及ぼす可能性もある。最近では、韓国も最低賃金の引き上げに取り組んでいるが、なかなかうまく機能していない状況である。どのような課題があつてうまくいってないと考えているのか。

前田議員

韓国の課題については、考えていなかったため答えられないが、最低賃金をあげていこうと思えば、当然中小企業の支援は必要である。賃金をあげるべきといっても、中小企業にそれだけの力がなければ耐えられないので、中小企業への支援は最低賃金の引き上げとセットで考えていくべきであると思っている。日本共産党では、順次、最低賃金の引き上げを行っていけば、3年後は1,500円まで引き上げられることができるのではないかと考えているが、その場合は7,000億円のお金が国費として支出できるかという課題も出てくるので、財源も考えながら進めている。中小企業への法人税は18%課税されているが、大企業への法人税は、各種の支援、減税策があり10%しか課税されていない。中小企業にも大企業並みに減税するという事を考えていって欲しいと思っているのと富

裕層への応分の税負担を求めることによって財源は生み出せるのではないかと考えている。

丹有地域

先ほどの韓国の話であるが、実際に韓国に行かれた弁護士の話が今年の春頃に聞いたことがある。その弁護士の話では、経済がそんなに悪化しているとは思わない。国も、中小企業にかなり手厚い支援をしており、最低賃金をあげることで、韓国の経済はよくなっていくという思いは労働者、企業共々一致していると聞いている。中小企業の支援という点では、日本も韓国と似たような支援が必要だと考えている。

## ■議員協議

### 【請願】

大上委員長

まず初めに請願について、紹介議員の説明も聞いたので、その取扱いについて協議をお願いします。この請願に対して、本日、結論を出すかどうかということだが、結論を出すという方向でいいか。

### 異議なし

園田委員

国では、中小企業への支援、賃金対策等の働きかけの動きもある。最低賃金1,000円、1,500円を目指す思いは誰しも同じではあるが、現時点は国の動向を見極めながら進める必要があるのではないかと思う。

渡辺委員

国でも最低賃金の改善についての動きも見えてきている。全体のバランスを取りながら、最低賃金も上げて行かなければ経済全体に影響を及ぼす。労働者としては、すぐに最低賃金をあげてほしいという思いもあると思うが、全体を見ながら最低賃金をあげていくというような事をしないと雇用関係が危うくなる恐れがある。趣旨は十分理解するが、現時点で、市議会として意見書を出すタイミングではないと考える。

足立委員

請願の趣旨も十分に理解したが、最低賃金は過去より上がってきていると個人的には感じており、賃金だけをみれば改善はされてきていると感じている。中小企業にも優良企業と経営が苦しい企業もある。国の施策もあるが、経営が苦しい企業までなかなか回ってこず更なる労働不足につながる恐れがある。生活保護水準の地域格差は多少あるという発言も見られ、地域により最低賃金の格差はあつてしかるべしと感じた。

■ 討論

討論なし

■ 採決

請願第1号 最低賃金の改善と中小企業の拡充を求める意見書の採択を  
求める請願書

全員不賛成のため不採択

大上委員長

それでは、本日の審査での質疑や議員協議の内容、並びに審査結果をもって、第120回長月会議最終日に委員会の最終報告を行いたい。最後にその報告にあたって、報告すべき事項等、意見はないか。

意見無

大上委員長

委員会の審査報告については、委員長に一任いただきたいが、異議はないか。

異議なし

大上委員長

請願審査に係る会議記録について、事務局に調整させ正副委員長において内容確認を行うことに一任願うが、異議はないか。

異議なし

吉田副委員長 あいさつ

閉会

16:00